

公益財団法人神奈川県公園協会

いせはら塔の山緑地公園における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 施設利用編

令和3年2月9日

1 ガイドラインの目的

いせはら塔の山緑地公園の公園施設利用における新型コロナウイルス病原体による公園利用者や公園協会職員（以下、「公園管理者」という）への感染リスクを最小限とするため、公園管理者が実施時に配慮すべき事項を明示することを目的とする。

2 本ガイドラインの位置づけ

国及び神奈川県が示す最新の「基本的対処方針」及び「方針に基づく通知」、「事務連絡」等に基づいてガイドラインを定め、運用する。なお、これらの方針等の改定に応じて逐次修正を行う等、ガイドラインの適切な運用を図る。

施設の利用に共通する項目については、当協会が定める「都市公園等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき対応する。

3 各園内施設の対応

3-1 多目的ホール

(1) 施設管理者の対応

受付時の対応

- ・施設の入り口には、常時手指消毒剤を設置する。
- ・受付窓口には、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽する。
- ・利用者が距離を置いて並べえるように目印の設置等を行う。
- ・利用者には発熱や風邪の症状等の体調の聞き取り、連絡先の把握を行う。
- ・発熱や風邪の症状等が報告された場合は、無理せず自宅療養してもらい、利用を断る。

施設の消毒、清掃

- ・人の手が触れる箇所（手すりやドアノブ、テーブル等）を小まめに消毒・清掃する。

密回避の対応

- ・密閉空間にしないよう、窓やドアの開放や換気設備を稼働させ、換気を行う
- ・ソーシャルディスタンスを確保するため、利用定員は1利用あたり最大10組までとする。

利用者への周知

- ・新型コロナウイルス感染対策を講じている旨を公園ホームページ、園内掲示等にて周知する。

(2) 利用者に協力を促す事項

感染拡大予防対策の徹底

- ・発熱や風邪の症状等がある方は利用を自粛する。
- ・利用前に手洗いや手指消毒を行う。
- ・咳エチケット、マスクの着用など行う。

密の回避

- ・人との距離を2m（最低1m）確保し、密集を避ける。
- ・大きな声での会話や密接した会話を避ける。

公益財団法人神奈川県公園協会
いせはら塔の山緑地公園における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン
イベント編

令和3年2月9日

1 ガイドラインの目的

いせはら塔の山緑地公園で行う各種イベント等（以下、「イベント等」という）における新型コロナウイルス病原体による公園利用者や公園協会職員（以下、「公園管理者」という）への感染リスクを最小限とするため、イベント等の主催者や公園管理者が実施時に配慮すべき事項を明示することを目的とする。

2 本ガイドラインの位置づけ

国及び神奈川県が示す最新の「基本的対処方針」及び「方針に基づく通知」、「事務連絡」等に基づいてガイドラインを定め、運用する。なお、これらの方針等の改定に応じて逐次修正を行う等、ガイドラインの適切な運用を図る。

イベント開催のための共通項目については、当協会が定める「都市公園等における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に基づき対応する。

3 公園管理者が共催（以下、共催者という）となる場合、配慮する事項

共催者は、前述の各方針やガイドラインに基づいて、主催者とともに適切に実施するものとする。また主催者の分担が、イベント運営業務の全般である際は、共催者は、主催者が当配慮事項を適切かつ確実に遂行しているか確認し、不備がある場合は指導を行う。

4 イベントの形態別の対策について

（1）観察会等体験型イベント（屋外）

- ・参加者にはソーシャルディスタンスの奨励し、参加者が多い場合には少人数での班を編成して、班別に説明や案内を行い、飛沫の発生、密集・密接を防ぐ。

（2）体験型イベント（室内）

- ・施設の入り口には手指消毒剤を設置する。
- ・ソーシャルディスタンスを保つため、利用者数10組を上限とする。
- ・窓やドアを開放し、空調機器も利用し、室内を常に換気して密室の環境を作らないようにする。
- ・室内の長期滞在防止のため、屋内における教室等の実施時間は必要最低限とする。

（3）利用者に協力を促す事項

感染拡大予防対策の徹底

- ・発熱や風邪の症状等がある方は利用を自粛する。
- ・利用前に手洗いや手指消毒を行う。
- ・咳エチケット、マスクの着用など行う。

密の回避

- ・人との距離を2m（最低1m）確保し、密集を避ける。
- ・大きな声での会話や密接した会話を避ける。